

# 貿易統計 近畿圏の三十年

今回は平成30年分の確定値が公表されましたので、近畿圏の貿易統計の三十年間をまとめました。

貿易統計は時代の写し鏡！

平成元年と平成30年を比較すると

- 輸出総額は2.1倍！輸入総額は2.4倍！
- 輸出品別構成比1位は  
「織物用糸及び纖維製品」から「半導体等電子部品」へ
- 輸入品別構成比1位は  
「衣類及び同附属品」から「原油及び粗油」へ
- 貿易相手国1位は輸出入とも  
アメリカ合衆国から中華人民共和国へ



テロ警戒中

大阪税関はG20大阪サミット成功のため、テロ関連物資の密輸阻止に全力で取り組んでおります。

# ～ 貿易統計は時代の写し鏡！～

貿易統計 近畿圏の三十年

近畿圏の貿易統計の過去30年の推移をグラフ化し、そこにその年に起こった出来事を書き加えると、下のグラフになります。  
これを見ると、貿易額等の増減が出来事と敏感に反応していたことが良く分かります。

## 【近畿圏 年推移】 輸出総額は2.1倍！輸入総額は2.4倍！

<輸出>

金額 平成30年17兆1,476億円は平成元年の2.1倍で**過去最高額**

伸率 平成22年+19.9%**平成最高**の伸率

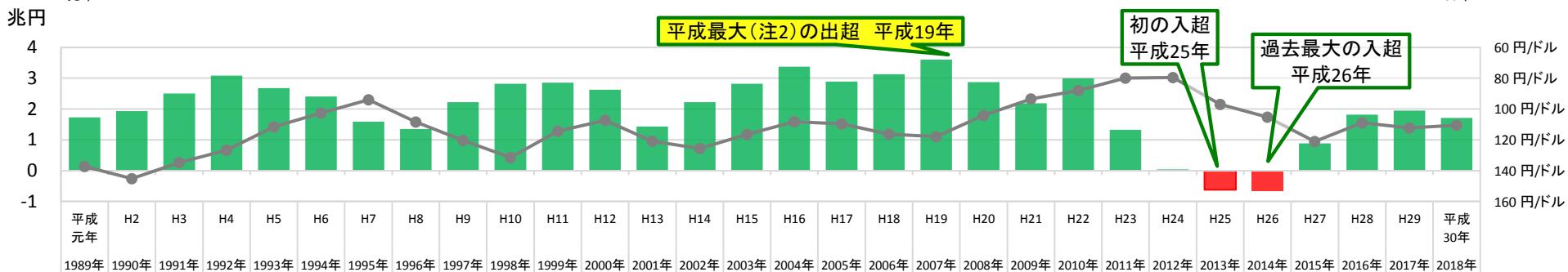
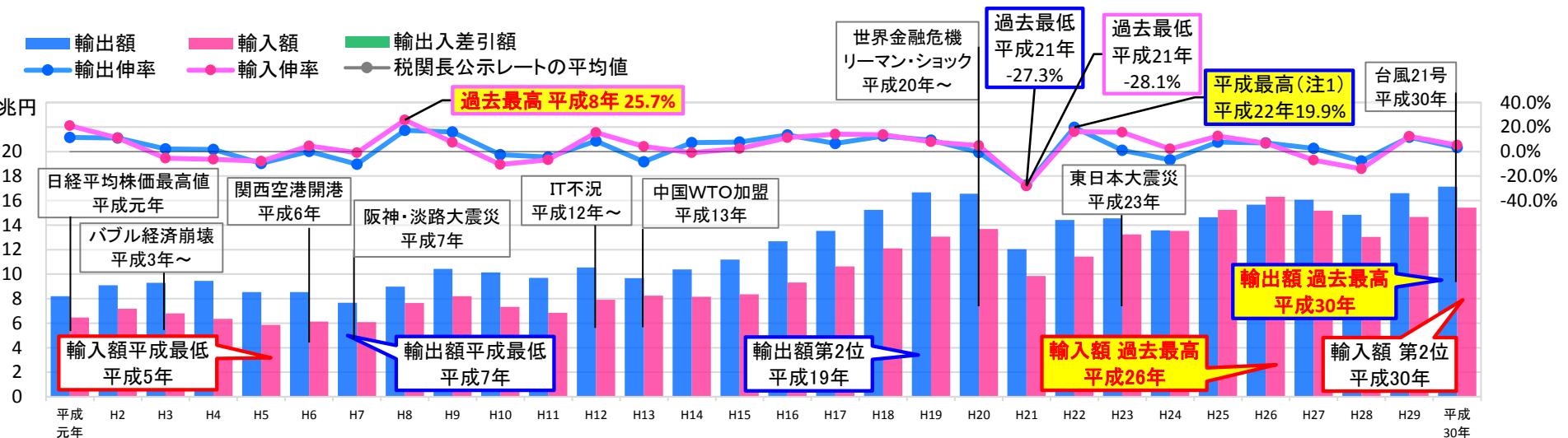
<輸入>

金額 平成30年15兆4,349億円は平成元年の2.4倍で**過去2番目 過去最高額**は平成26年16兆3,078億円

伸率 平成8年+25.7%**過去最高**の伸率

<差引>

金額 平成19年は**平成最大の出超**の+3兆6,053億円 平成25年は昭和54年以降**初の入超** 平成26年は**過去最大の入超**の-6,421億円



(注1)輸出伸率の過去最高は昭和55年27.7% (注2)差引額の過去最大の出超は昭和60年3兆7,118億円

## 【近畿圏 主要輸出品目比較】

## 「織物用糸及び纖維製品」から「半導体等電子部品」へ

近畿圏の輸出額における品目別構成比を見ると、平成元年の1位は織物用糸及び纖維製品でしたが、その後、織物用糸及び纖維製品は下降傾向にあり、平成30年は平成元年と比較すると、金額が33.4%減少し、構成比も5.4ポイント下落し、9位となりました。

一方、平成元年は5位であった半導体等電子部品が平成30年には、金額が5.6倍、構成比が7.0ポイント上昇し、1位となりました。品目の内訳のICは変わりませんが、テレビ用陰極線管は無くなり、光電性半導体デバイス(発光ダイオード(LED)等)となりました。

平成元年10位のプラスチックは、平成30年には金額は3.4倍となり、構成比が1.6ポイント上昇し、3位となりました。

## 平成元年

順位	品目	具体的な品目	金額(億円)	構成比	全国比
平成元年	平成30年	輸出総額	－	81,944	100.0%
1位	→ 9位	織物用糸及び纖維製品	6,477	7.9%	86.0%
2位	→ 2位	鉄鋼	5,897	7.2%	29.1%
3位	→ 圏外	映像機器	5,125	6.3%	32.0%
4位	→ 圏外	事務用機器	4,191	5.1%	15.8%
5位	→ 1位	半導体等電子部品	3,361	4.1%	17.3%
6位	→ 4位	科学光学機器	2,803	3.4%	18.2%
7位	→ 圏外	有機化合物	2,734	3.3%	36.6%
8位	→ 5位	原動機	2,516	3.1%	24.6%
9位	→ 圏外	金属製品	2,212	2.7%	35.4%
10位	→ 3位	プラスチック	2,131	2.6%	39.1%

圏外	→ 6位	電気回路等の機器	配電盤及び制御盤	1,874	2.3%	26.2%
	→ 7位	建設用・鉱山用機械	エキスカベーター	1,573	1.9%	45.4%
	→ 10位	コンデンサー	アルミニウム電解コンデンサー	499	0.6%	32.5%
	設定なし	→ 8位	半導体等製造装置	－	－	－

## 平成30年

順位	品目	具体的な品目	金額(億円)	構成比	全国比	平成元年比較		
平成30年	平成元年	輸出総額	－	171,476	100.0%	21.0%	2.1倍	－
1位	← 5位	半導体等電子部品	IC、光電性半導体デバイス(発光ダイオード(LED)等)	18,980	11.1%	45.7%	5.6倍	+7.0
2位	← 2位	鉄鋼	鉄鋼のフラットロール製品	7,718	4.5%	22.4%	1.3倍	-2.7
3位	← 10位	プラスチック	プラスチックシート(液晶パネル用)	7,159	4.2%	28.0%	3.4倍	+1.6
4位	← 6位	科学光学機器	液晶デバイス	7,072	4.1%	30.6%	2.5倍	+0.7
5位	← 8位	原動機	内燃機関(ガスタービン)	6,221	3.6%	21.1%	2.5倍	+0.6
6位	← 圏外	電気回路等の機器	電気回路の開閉用、保護用機器	6,160	3.6%	29.7%	3.3倍	+1.3
7位	← 圏外	建設用・鉱山用機械	エキスカベーター	5,654	3.3%	45.9%	3.6倍	+1.4
8位	← 設定なし	半導体等製造装置	半導体デバイス又は集積回路製造用の機器	5,095	3.0%	18.7%	－	－
9位	← 1位	織物用糸及び纖維製品	合成繊維織物(服地、裏地)	4,314	2.5%	59.5%	33.4%減	-5.4
10位	← 圏外	コンデンサー	セラミックコンデンサー	4,111	2.4%	65.5%	8.2倍	+1.8

圏外	← 7位	有機化合物	複素環式化合物(医薬品・農薬原料)	3,483	2.0%	17.0%	1.3倍	-1.3
	← 9位	金属製品	手道具類及び機械用工具	3,192	1.9%	24.5%	1.4倍	-0.8
	← 4位	事務用機器	電算機類の部分品	3,010	1.8%	20.3%	28.2%減	-3.4
	← 3位	映像機器	テレビ受像機	981	0.6%	21.0%	80.9%減	-5.7

## 【近畿圏 主要輸入品目比較】 「衣類及び同附属品」から「原油及び粗油」へ

近畿圏における30年間の主要輸入品目構成比(P11~13の参考資料)を見ると、衣類及び同附属品と原油及び粗油は1位から3位の間で推移しており、平成元年と平成30年の比較では、衣類及び同附属品は金額が1.7倍、原油及び粗油は2.9倍と増加し、平成30年は原油及び粗油が1位となりました。平成元年で2位の織物用糸及び纖維製品は金額が17.7%減少し、平成30年は9位となりました。

平成元年から大きく変わった品目として、平成元年には圏外だった天然ガス及び製造ガスが金額が5.2倍、構成比が3.4ポイント上昇し、平成30年には3位となりました。同様に通信機は金額が92.7倍、構成比が4.6ポイント上昇し、圏外から5位となりました。

平成元年

順位		品目	具体的な品目	金額(億円)	構成比	全国比
平成元年	平成30年	輸入総額	-	64,654	100.0%	22.3%
1位	→ 2位	衣類及び同附属品	織物製衣類	6,382	9.9%	51.6%
2位	→ 9位	織物用糸及び纖維製品	織物用纖維糸(綿糸)	4,073	6.3%	68.2%
3位	→ 1位	原油及び粗油	原油	4,004	6.2%	13.5%
4位	→ 圏外	鉄鋼	鉄鋼のフラットロール製品	2,748	4.2%	39.4%
5位	→ 10位	非鉄金属	アルミニウム及び同合金	2,503	3.9%	18.4%
6位	→ 圏外	魚介類及び同調製品	えび、いか、かに	2,361	3.7%	17.1%
7位	→ 6位	肉類及び同調製品	牛肉、豚肉	2,266	3.5%	33.6%
8位	→ 7位	有機化合物	スチレン	1,970	3.0%	30.9%
9位	→ 圏外	木材	製材	1,958	3.0%	17.3%
10位	→ 4位	医薬品	投与量にした医薬品	1,893	2.9%	50.7%

圏外	→ 3位	天然ガス及び製造ガス	液化天然ガス	1,875	2.9%	18.7%
	→ 8位	半導体等電子部品	IC	414	0.6%	10.5%
	→ 5位	通信機	有線搬送通信機器	78	0.1%	8.2%

平成30年

順位		品目	具体的な品目	金額(億円)	構成比	全国比	平成元年比較	
平成30年	平成元年	輸入総額	-	154,349	100.0%	18.7%	2.4倍	-
1位	← 3位	原油及び粗油	原油	11,477	7.4%	12.9%	2.9倍	+1.2
2位	← 1位	衣類及び同附属品	ニット製衣類	11,022	7.1%	33.3%	1.7倍	-2.7
3位	← 圏外	天然ガス及び製造ガス	液化天然ガス	9,694	6.3%	17.9%	5.2倍	+3.4
4位	← 10位	医薬品	投与量にした医薬品	8,718	5.6%	29.4%	4.6倍	+2.7
5位	← 圏外	通信機	電話機	7,211	4.7%	23.4%	92.7倍	+4.6
6位	← 7位	肉類及び同調製品	豚肉、牛肉	4,512	2.9%	29.8%	2.0倍	-0.6
7位	← 8位	有機化合物	複素環式化合物(医薬品原料)	4,058	2.6%	20.9%	2.1倍	-0.4
8位	← 圏外	半導体等電子部品	IC	3,837	2.5%	13.6%	9.3倍	+1.8
9位	← 2位	織物用糸及び纖維製品	織物用纖維糸(合成纖維の糸)	3,352	2.2%	34.6%	17.7%減	-4.1
10位	← 5位	非鉄金属	アルミニウム及び同合金	3,272	2.1%	16.4%	1.3倍	-1.8

圏外	← 4位	鉄鋼	鉄鋼のフラットロール製品	2,869	1.9%	28.2%	1.0倍	-2.4
	← 6位	魚介類及び同調製品	えび、さけ及びます、いか	2,540	1.6%	15.3%	1.1倍	-2.0
	← 9位	木材	製材	843	0.5%	20.7%	56.9%減	-2.5

## 【近畿圏 国別 輸出額】 アメリカ合衆国から中華人民共和国へ

近畿圏の輸出額における国別構成比を見ると、平成元年1位のアメリカ合衆国は、平成30年は金額が平成元年の1.2倍となりましたが、構成比が11.0ポイント下落し、2位でした。

平成元年6位の中華人民共和国は、平成30年は金額が平成元年の10.5倍となり、構成比が20.3ポイント上昇し、1位でした。

両国の順位は平成15年に入れ替わり、以降、中華人民共和国が1位、アメリカ合衆国が2位となっています。

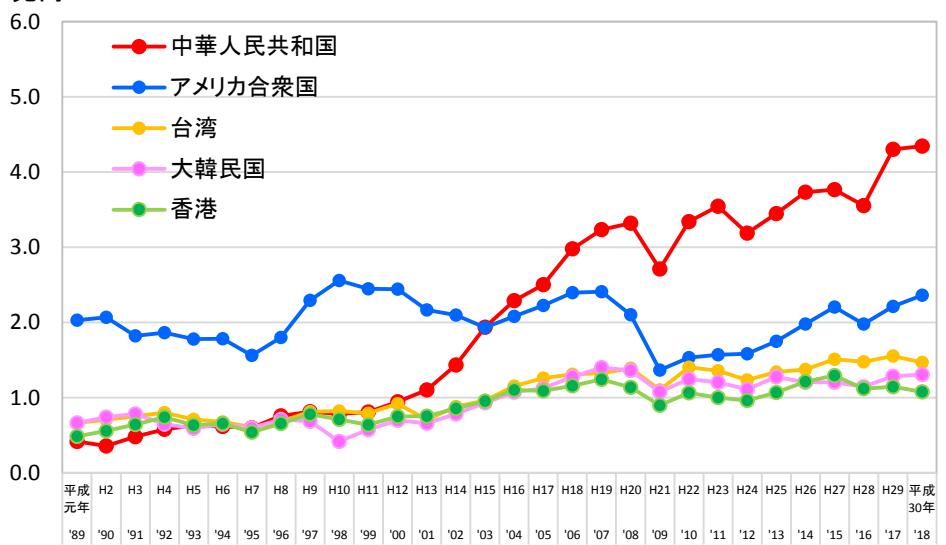
平成元年

順位	国(地域)名	金額(億円)	構成比	全国比
	輸出総額	81,944	100.0%	21.7%
1位	アメリカ合衆国	20,283	24.8%	15.8%
2位	大韓民国	6,645	8.1%	29.1%
3位	台湾	6,633	8.1%	31.3%
4位	香港	4,848	5.9%	30.7%
5位	ドイツ	4,315	5.3%	19.7%
6位	中華人民共和国	4,153	5.1%	35.7%
7位	シンガポール	3,592	4.4%	28.2%
8位	タイ	2,764	3.4%	29.3%
9位	英国	2,748	3.4%	18.7%
10位	オーストラリア	1,932	2.4%	18.0%

平成30年

順位	国(地域)名	金額(億円)	構成比	全国比	元年比較	
					金額	構成比
	輸出総額	171,476	100.0%	21.0%	2.1倍	-
1位	中華人民共和国	43,442	25.3%	27.3%	10.5倍	+20.3
2位	アメリカ合衆国	23,605	13.8%	15.3%	1.2倍	-11.0
3位	台湾	14,669	8.6%	31.3%	2.2倍	+0.5
4位	大韓民国	13,035	7.6%	22.5%	2.0倍	-0.5
5位	香港	10,742	6.3%	28.0%	2.2倍	+0.3
6位	タイ	7,291	4.3%	20.5%	2.6倍	+0.9
7位	ドイツ	6,360	3.7%	27.6%	1.5倍	-1.6
8位	ベトナム	5,383	3.1%	29.7%	41.2倍	+3.0
9位	シンガポール	4,970	2.9%	19.2%	1.4倍	-1.5
10位	インドネシア	3,920	2.3%	22.5%	2.8倍	+0.6

兆円 【平成30年 国別TOP5推移】



【主要品目比較】

アメリカ合衆国

平成元年

順位	品目	金額(億円)	構成比
	総額	20,283	100.0%
1位	事務用機器	3,005	14.8%
2位	映像機器	1,764	8.7%
3位	科学光学機器	1,238	6.1%
4位	原動機	928	4.6%
5位	鉄鋼	886	4.4%

アメリカ合衆国

平成30年

順位	品目	金額(億円)	構成比
	総額	23,605	100.0%
1位	建設用・鉱山用機械	2,157	9.1%
2位	電池	1,535	6.5%
3位	遊戯用具	1,199	5.1%
4位	原動機	1,015	4.3%
5位	半導体等電子部品	788	3.3%

中華人民共和国

平成元年

順位	品目	金額(億円)	構成比
	総額	4,153	100.0%
1位	鉄鋼	835	20.1%
2位	織物用糸及び繊維製品	514	12.4%
3位	映像機器	322	7.7%
4位	繊維機械	205	4.9%
5位	半導体等電子部品	159	3.8%

中華人民共和国

平成30年

順位	品目	金額(億円)	構成比
	総額	43,442	100.0%
1位	半導体等電子部品	6,961	16.0%
2位	科学光学機器	3,697	8.5%
3位	プラスチック	2,470	5.7%
4位	半導体等製造装置	1,864	4.3%
5位	電気回路等の機器	1,833	4.2%

## 【近畿圏 国別 輸入額】 アメリカ合衆国から中華人民共和国へ

近畿圏の輸入額における国別構成比を見ると、平成元年1位のアメリカ合衆国は、平成30年は金額が平成元年の1.2倍となりましたが、構成比が9.7ポイント下落し、2位でした。

平成元年2位の中華人民共和国は、平成30年は金額が平成元年の7.6倍となり、構成比が21.9ポイント上昇し、1位でした。

両国の順位は平成6年に入れ替わり、以降、中華人民共和国が1位、アメリカ合衆国が2位となっています。

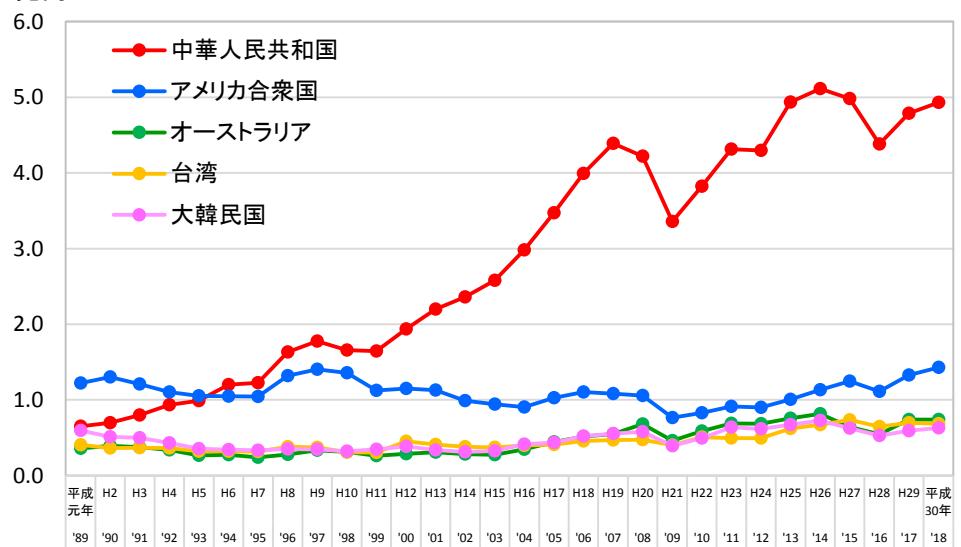
平成元年

順位	国(地域)名	金額(億円)	構成比	全国比	元年比較	
					金額	構成比
	輸入総額	64,654	100.0%	22.3%		
1位	アメリカ合衆国	12,231	18.9%	18.4%		
2位	中華人民共和国	6,527	10.1%	42.5%		
3位	大韓民国	5,972	9.2%	33.4%		
4位	台湾	4,049	6.3%	32.9%		
5位	オーストラリア	3,585	5.5%	22.5%		
6位	インドネシア	3,048	4.7%	20.1%		
7位	ドイツ	3,021	4.7%	24.4%		
8位	カナダ	2,176	3.4%	18.3%		
9位	イタリア	1,795	2.8%	34.2%		
10位	英国	1,385	2.1%	22.6%		

平成30年

順位	国(地域)名	金額(億円)	構成比	全国比	元年比較	
					金額	構成比
	輸入総額	154,349	100.0%	18.7%	2.4倍	-
1位	中華人民共和国	49,334	32.0%	25.7%	7.6倍	+21.9
2位	アメリカ合衆国	14,276	9.2%	15.8%	1.2倍	-9.7
3位	オーストラリア	7,412	4.8%	14.7%	2.1倍	-0.7
4位	台湾	6,823	4.4%	22.8%	1.7倍	-1.8
5位	大韓民国	6,314	4.1%	17.8%	1.1倍	-5.1
6位	タイ	5,253	3.4%	19.0%	4.1倍	+1.4
7位	アラブ首長国連邦	5,038	3.3%	16.5%	4.6倍	+1.6
8位	ベトナム	4,773	3.1%	20.4%	54.5倍	+3.0
9位	ドイツ	4,628	3.0%	16.1%	1.5倍	-1.7
10位	インドネシア	3,858	2.5%	16.2%	1.3倍	-2.2

兆円 平成30年 国別TOP5推移】



【主要品目比較】

アメリカ合衆国

平成元年

順位	品目	金額(億円)	構成比	平成元年	
				金額	構成比
	総額	12,231	100.0%		
1位	肉類及び同調製品	1,099	9.0%		
2位	木材	882	7.2%		
3位	医薬品	601	4.9%		
4位	パルプ	577	4.7%		
5位	たばこ	525	4.3%		

アメリカ合衆国

平成30年

順位	品目	金額(億円)	構成比	平成30年	
				金額	構成比
	総額	14,276	100.0%		
1位	医薬品	1,443	10.1%		
2位	肉類及び同調製品	1,399	9.8%		
3位	天然ガス及び製造ガス	1,097	7.7%		
4位	半導体等製造装置	931	6.5%		
5位	有機化合物	854	6.0%		

中華人民共和国

平成元年

順位	品目	金額(億円)	構成比	平成元年	
				金額	構成比
	総額	6,527	100.0%		
1位	衣類及び同附属品	2,265	34.7%		
2位	織物用糸及び繊維製品	1,139	17.5%		
3位	繊維原料	330	5.1%		
4位	原油及び粗油	325	5.0%		
5位	魚介類及び同調製品	293	4.5%		

中華人民共和国

平成30年

順位	品目	金額(億円)	構成比	平成30年	
				金額	構成比
	総額	49,334	100.0%		
1位	衣類及び同附属品	7,226	14.6%		
2位	通信機	6,643	13.5%		
3位	事務用機器	2,018	4.1%		
4位	織物用糸及び繊維製品	1,807	3.7%		
5位	音響・映像機器(含部品)	1,752	3.6%		

## ～まとめ～

貿易統計は、いろいろな出来事に敏感に反応していることが見て取れます。また、30年前の輸出入品目と現在の輸出入品目を比較すると隔世の感やその時々の流行り廃りも手に取るように分かります。

貿易統計はまさに「時代の写し鏡！」と言えるでしょう。

貿易統計は今後も脈々と時代の動きを記録し続けて行きます。

過去最高及び過去最低は昭和54年(1979年)以降の比較による。

参考資料:各税関作成資料、関税年報(各年)

※本資料を他に転載するときは、大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

本資料に関するお問い合わせは、大阪税関調査部調査統計課まで。  
電話番号06-6966-5385



近畿圏(2府4県):大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山

### ■アジア(26か国)

韓国、北朝鮮、中華人民共和国、台湾、モンゴル、香港、ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、フィリピン、インドネシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー、インド、パキスタン、スリランカ、モルディブ、バングラデシュ、東ティモール、マカオ、アフガニスタン、ネパール、ブータン

※赤字下線は新規加盟国

### ■EC

○1989年(平成元年)～1993年(平成5年)10月まで12か国加盟  
デンマーク、英国、アイルランド、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、フランス、ドイツ、ポルトガル、スペイン、イタリア、ギリシャ

### ■EU

○1993年(平成5年)11月～1994年(平成6年)12月まで12か国加盟  
デンマーク、英国、アイルランド、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、フランス、ドイツ、ポルトガル、スペイン、イタリア、ギリシャ

○1995年(平成7年)1月～2004年(平成16年)4月まで15か国加盟  
スウェーデン、フィンランド、オーストリア

○2004年(平成16年)5月～2006年(平成18年)12月まで25か国加盟  
マルタ、ポーランド、ハンガリー、キプロス、エストニア、ラトビア、リトアニア、スロベニア、チェコ、スロバキア

○2007年(平成19年)1月～2013年(平成25年)6月まで27か国加盟  
ルーマニア、ブルガリア

○2013年(平成25年)7月～28か国加盟  
クロアチア

## 参考

年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年
	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998
輸出総額	81,944	91,042	92,935	94,493	85,310	85,375	76,652	89,870	104,237	101,526
アジア	34,533	39,630	43,524	44,942	42,843	44,821	41,615	49,024	52,875	43,583
中華人民共和国	4,153	3,552	4,818	5,762	6,287	6,156	6,004	7,562	8,130	7,800
アメリカ合衆国	20,283	20,669	18,199	18,607	17,771	17,837	15,620	17,983	22,908	25,574
EU	12,295	14,859	16,114	15,853	12,205	11,553	10,918	12,115	15,585	18,229
近畿圏の貿易収支	17,290	19,279	25,047	30,862	26,748	24,099	15,896	13,480	22,182	28,184
税関長公示レート 年平均(円/ドル)	137.26	145.11	134.84	126.77	111.60	102.63	93.97	108.33	120.41	131.42
主要輸出品目 構成比 1位	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	事務用機器	事務用機器	半導体等電子部品	半導体等電子部品	事務用機器	事務用機器
同 2位	鉄鋼	映像機器	映像機器	事務用機器	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	事務用機器	事務用機器	半導体等電子部品	半導体等電子部品
同 3位	映像機器	鉄鋼	鉄鋼	映像機器	鉄鋼	半導体等電子部品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品
同 4位	事務用機器	事務用機器	事務用機器	鉄鋼	半導体等電子部品	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼
同 5位	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	映像機器	映像機器	原動機	電気回路等の機器	電気回路等の機器	原動機
同 6位	科学光学機器	有機化合物	有機化合物	原動機	原動機	原動機	電気回路等の機器	原動機	原動機	電気回路等の機器
同 7位	有機化合物	科学光学機器	科学光学機器	有機化合物	科学光学機器	電気回路等の機器	科学光学機器	科学光学機器	科学光学機器	映像機器
同 8位	原動機	原動機	原動機	科学光学機器	有機化合物	科学光学機器	有機化合物	有機化合物	有機化合物	科学光学機器
同 9位	金属製品	プラスチック	繊維機械	繊維機械	電気回路等の機器	有機化合物	映像機器	映像機器	映像機器	有機化合物
同 10位	プラスチック	金属製品	プラスチック	プラスチック	繊維機械	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチック
主な増加品目	事務用機器	事務用機器	映像機器	事務用機器	事務用機器	半導体等電子部品	半導体等電子部品	織物用糸及び繊維製品	事務用機器	映像機器
	半導体等電子部品	織物用糸及び繊維製品	半導体等電子部品	原動機	半導体等電子部品	電気回路等の機器	金属加工機械	半導体等電子部品	半導体等電子部品	原動機
主な減少品目	家庭用電気機器	鉄鋼	建設用・鉱山用機械	映像機器	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	映像機器	船舶	加熱用・冷却用機器	事務用機器
	船舶	音響機器	事務用機器	鉄鋼	映像機器	自動車	織物用糸及び繊維製品	コンデンサー	ガラス及び同製品	半導体等電子部品
(参考1) 主な内外の出来事	4/1消費税3%導入 5/13新宮開港	4/1国際花と緑の博覧会(大阪) 6/2イラクがクウェートに侵攻 10/3東西両ドイツ統一	4/17湾岸戦争 12/21ソ連崩壊	4/1オレンジ果汁の輸入自由化 9/30農林水産省が米の緊急輸入を決定 11/1EU発足 12/15ウルグアイラウンド交渉終結	4/26富山空港開港 9/30農林水産省が米の緊急輸入を決定 11/1EU発足 12/15ウルグアイラウンド交渉終結	1/1北米自由貿易協定(NAFTA)発効 4/15ウルグアイラウンド交渉で「マラケシュ宣言」採択 9/4開西国際空港開港 12/8マラケシュ協定(WTO協定)国会承認	1/1世界貿易機関(WTO)設立 4/19円相場一時79.75円/ドル	12/10イラク産原油の禁輸措置部 分解除(6年半ぶり)。	4/1消費税率5%に引き上げ 7/1英、香港を中国に返還 アシア通貨危機	6/8東京市場円相場7年ぶりの140円台の円安 8-ロシア経済危機 9-ブразル通貨危機
(参考2) 全国の貿易収支 (億円)	88,440	76,017	104,597	134,849	133,761	123,932	99,821	67,379	99,818	139,914
(参考3) 全国の原油輸入単価 (円/KL)	14,453	19,842	17,194	15,408	12,450	10,581	10,687	13,937	15,718	11,481

(注)EUの平成5年(1993年)10月以前の数値はECの数値を計上

## 参考

(単位:億円)

年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
輸出総額	96,978	105,346	96,663	103,794	111,829	126,852	135,280	152,436	166,680	165,532
アジア	44,774	53,171	49,827	57,338	66,091	76,194	81,255	90,402	98,595	99,948
中華人民共和国	8,079	9,434	11,031	14,340	19,352	22,875	25,018	29,791	32,347	33,175
アメリカ合衆国	24,459	24,429	21,659	20,983	19,326	20,815	22,242	23,954	24,074	21,009
EU	16,780	17,408	15,016	15,127	16,092	18,499	18,519	21,176	24,130	23,349
近畿圏の貿易収支	28,527	26,284	14,286	22,203	28,226	33,719	28,897	31,314	36,053	28,694
税関長公示レート 年平均(円/ドル)	114.37	107.36	120.95	125.61	116.41	108.28	109.64	116.25	117.93	104.23
主要輸出品目 構成比 1位	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品
同 2位	事務用機器	事務用機器	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼
同 3位	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	事務用機器	事務用機器	事務用機器	織物用糸及び繊維製品	科学光学機器	プラスチック	プラスチック	プラスチック
同 4位	鉄鋼	電気回路等の機器	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	科学光学機器	織物用糸及び繊維製品	科学光学機器	建設用・鉱山用機械	建設用・鉱山用機械
同 5位	科学光学機器	鉄鋼	原動機	映像機器	科学光学機器	電気回路等の機器	電気回路等の機器	電気回路等の機器	電気回路等の機器	電気回路等の機器
同 6位	原動機	科学光学機器	科学光学機器	科学光学機器	映像機器	事務用機器	プラスチック	織物用糸及び繊維製品	科学光学機器	織物用糸及び繊維製品
同 7位	電気回路等の機器	原動機	電気回路等の機器	電気回路等の機器	電気回路等の機器	映像機器	建設用・鉱山用機械	音響・映像機器の部分品	織物用糸及び繊維製品	科学光学機器
同 8位	映像機器	映像機器	映像機器	有機化合物	プラスチック	プラスチック	原動機	建設用・鉱山用機械	有機化合物	原動機
同 9位	有機化合物	電池	有機化合物	原動機	有機化合物	音響・映像機器の部分品	有機化合物	原動機	原動機	有機化合物
同 10位	電池	有機化合物	プラスチック	プラスチック	音響・映像機器の部分品	建設用・鉱山用機械	音響・映像機器の部分品	有機化合物	事務用機器	事務用機器
主な増加品目	半導体等電子部品	半導体等電子部品	鉄鋼	半導体等電子部品	音響・映像機器の部分品	半導体等電子部品	鉄鋼	半導体等電子部品	半導体等製造装置	鉱物性燃料
	音響・映像機器の部分品	コンデンサー	医薬品	通信機	半導体等電子部品	科学光学機器	半導体等電子部品	音響・映像機器の部分品	通信機	鉄鋼
主な減少品目	事務用機器	自動車	半導体等電子部品	原動機	原動機	事務用機器	事務用機器	通信機	音響・映像機器の部分品	科学光学機器
	鉄鋼	船舶	事務用機器	音響機器	事務用機器	通信機	映像機器	医薬品	映像機器	事務用機器
(参考1) 主な内外の出来事	12/20マカオが中国に返還	7/21九州・沖縄サミット開催	9/11米同時多発テロ 11/11中国WTO加盟 11/12台湾WTO加盟	1/1ヨーロッパの貨物流通開始 1/28WTOドーハラウンド交渉開始 5/31日韓共同サッカーW杯 11/30日シンガポールEPA発効	3/20イラク戦争開戦(5/1戦闘終結宣言)	10/23新潟県中越地震発生 3/25 2005年日本国際博覧会(愛知) 4/1福井開港 4/1メキシコEPA発効	2/17中部国際空港開港 7/13日マレーシアEPA発効	7/5北朝鮮によるミサイル発射実験 9/3日リバティEPA発効 11/1日タイEPA発効 12/1港則法施行令改正により、阪神港が誕生 4/1メキシコEPA発効	7/16新潟県中越沖地震発生 9/3日ブルネイEPA発効 11/1日タイEPA発効 9/1日マニラ開港 12/1日ASEAN協定発効 12/11日フィリピンEPA発効	7/1日インドネシアEPA発効 7/31日ブルネイEPA発効 9/1日マニラ開港 12/1日ASEAN協定発効 12/11日フィリピンEPA発効
(参考2) 全国の貿易収支(億円)	122,795	107,158	65,637	98,814	101,863	119,533	87,072	79,019	107,955	20,633
(参考3) 全国の原油輸入単価(円/KL)	12,124	19,290	19,206	19,380	21,406	24,741	35,460	46,751	51,246	67,263

## 参考

(単位:億円)

年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
輸出総額	120,313	144,220	145,649	135,756	146,374	156,657	160,697	148,498	166,092	171,476
アジア	78,120	97,611	98,130	92,074	99,114	104,658	107,622	100,447	113,516	114,631
中華人民共和国	27,092	33,397	35,417	31,868	34,459	37,293	37,649	35,536	43,013	43,442
アメリカ合衆国	13,632	15,328	15,684	15,807	17,483	19,757	22,053	19,762	22,106	23,605
EU	14,629	16,233	16,446	13,538	14,235	15,150	15,885	15,071	16,879	18,310
近畿圏の貿易収支	21,899	29,948	13,258	369	-6,167	-6,421	8,817	18,187	19,495	17,127
税関長公示レート 年平均(円/ドル)	93.52	88.09	79.97	79.55	96.91	105.30	121.00	108.95	112.33	110.50
主要輸出品目 構成比 1位	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品
同 2位	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	科学光学機器	鉄鋼
同 3位	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチック	科学光学機器	科学光学機器	科学光学機器	プラスチック	鉄鋼	プラスチック
同 4位	原動機	電気回路等の機器	科学光学機器	科学光学機器	プラスチック	プラスチック	プラスチック	科学光学機器	プラスチック	科学光学機器
同 5位	電気回路等の機器	科学光学機器	建設用・鉱山用機械	電気回路等の機器	原動機	有機化合物	電気回路等の機器	電気回路等の機器	電気回路等の機器	原動機
同 6位	有機化合物	原動機	電気回路等の機器	建設用・鉱山用機械	電気回路等の機器	電気回路等の機器	原動機	原動機	原動機	電気回路等の機器
同 7位	織物用糸及び繊維製品	建設用・鉱山用機械	原動機	原動機	有機化合物	原動機	織物用糸及び繊維製品	建設用・鉱山用機械	建設用・鉱山用機械	建設用・鉱山用機械
同 8位	科学光学機器	有機化合物	有機化合物	有機化合物	建設用・鉱山用機械	建設用・鉱山用機械	建設用・鉱山用機械	織物用糸及び繊維製品	半導体等製造装置	半導体等製造装置
同 9位	映像機器	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	有機化合物	半導体等製造装置	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品
同 10位	通信機	映像機器	鉱物性燃料	鉱物性燃料	鉱物性燃料	鉱物性燃料	通信機	有機化合物	有機化合物	コンデンサー
主な増加品目	通信機	半導体等電子部品	科学光学機器	鉱物性燃料	半導体等電子部品	科学光学機器	半導体等電子部品	半導体等製造装置	科学光学機器	原動機
	-	建設用・鉱山用機械	鉱物性燃料	金属加工機械	鉄鋼	半導体等電子部品	通信機	電池	半導体等電子部品	無機化合物
主な減少品目	建設用・鉱山用機械	通信機	半導体等電子部品	半導体等電子部品	建設用・鉱山用機械	原動機	有機化合物	鉄鋼	音響・映像機器の部分品	科学光学機器
	鉄鋼	遊戯用具	映像機器	映像機器	音響・映像機器の部分品	ガラス及び同製品	鉱物性燃料	科学光学機器	映像機器	通信機
(参考1) 主な内外の出来事	9/1日スイスEPA発効 10/1日ベトナムEPA発効	10/21羽田空港の新滑走路・国際線旅客ターミナルが運用開始。国際線4路線から17路線へ拡大。 中国が日本のGDPを抜き、世界2位になる。	3/11東日本大震災 サブライチーンの寸断等により、自動車の輸出大幅減 8/1日インドEPA発効 10/31円相場75.54円/ドルを記録	3/1日ペルーEPA協定発効 8/22ロシアWTO加盟	9/8 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定 7/23TPP交渉参加	4/1消費税率引上げ8% 7/23TPP交渉参加	1/15日オーストラリアEPA発効	6/7日モンゴルEPA発効 2/4TPP署名	2/22WTO協定改正議定書(貿易円滑化協定)発効 10/8認定事業者(AEO)に係る輸出入申告に対し申告官署の自由化 2025大阪万博開催決定	7-平成30年7月豪雨 9/4台風21号により関西空港が一時閉鎖
(参考2) 全国の貿易収支 (億円)	26,712	66,347	-25,647	-69,411	-114,684	-128,161	-27,916	39,938	29,072	-12,246
(参考3) 全国の原油輸入単価 (円/KL)	35,511	43,826	54,650	57,494	67,272	69,320	41,866	28,425	38,317	50,633

## 参考

(単位:億円)

年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年
	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998
輸入総額	64,654	71,763	67,888	63,631	58,562	61,277	60,756	76,390	82,055	73,342
アジア	25,909	26,588	28,026	27,878	26,807	29,263	28,946	36,775	39,157	34,945
中華人民共和国	6,527	6,975	7,986	9,341	9,882	12,015	12,269	16,310	17,744	16,577
アメリカ合衆国	12,231	13,001	12,097	11,035	10,506	10,497	10,442	13,207	14,032	13,568
EU	9,108	11,723	9,927	9,374	7,797	8,202	8,869	11,231	11,389	10,654
近畿圏の貿易収支	17,290	19,279	25,047	30,862	26,748	24,099	15,896	13,480	22,182	28,184
税関長公示レート 年平均(円/ドル)	137.26	145.11	134.84	126.77	111.60	102.63	93.97	108.33	120.41	131.42
主要輸入品目 構成比 1位	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品
同 2位	織物用糸及び繊維製品	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油
同 3位	原油及び粗油	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	肉類及び同調製品	織物用糸及び繊維製品	肉類及び同調製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	肉類及び同調製品
同 4位	鉄鋼	天然ガス及び製造ガス	鉄鋼	肉類及び同調製品	織物用糸及び繊維製品	魚介類及び同調製品	織物用糸及び繊維製品	肉類及び同調製品	魚介類及び同調製品	魚介類及び同調製品
同 5位	非鉄金属	非鉄金属	魚介類及び同調製品	魚介類及び同調製品	魚介類及び同調製品	肉類及び同調製品	魚介類及び同調製品	魚介類及び同調製品	肉類及び同調製品	織物用糸及び繊維製品
同 6位	魚介類及び同調製品	魚介類及び同調製品	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	医薬品	医薬品	医薬品	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス
同 7位	肉類及び同調製品	鉄鋼	非鉄金属	医薬品	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	鉄鋼	医薬品	医薬品	有機化合物
同 8位	有機化合物	肉類及び同調製品	肉類及び同調製品	鉄鋼	木材	有機化合物	天然ガス及び製造ガス	有機化合物	有機化合物	医薬品
同 9位	木材	医薬品	医薬品	非鉄金属	鉄鋼	木材	有機化合物	木材	非鉄金属	事務用機器
同 10位	医薬品	有機化合物	有機化合物	有機化合物	有機化合物	鉄鋼	木材	鉄鋼	鉄鋼	非鉄金属
主な増加品目	衣類及び同附属品	原油及び粗油	鉄鋼	衣類及び同附属品	木製品及びコルク製品(除家具)	衣類及び同附属品	鉄鋼	衣類及び同附属品	原油及び粗油	通信機
	織物用糸及び繊維製品	天然ガス及び製造ガス	魚介類及び同調製品	肉類及び同調製品	木材	織物用糸及び繊維製品	事務用機器	原油及び粗油	天然ガス及び製造ガス	アルコール飲料
主な減少品目	-	鉄鋼	原油及び粗油	鉄鋼	原油及び粗油	原油及び粗油	穀物及び同調製品	鉄鋼	衣類及び同附属品	原油及び粗油
	-	織物用糸及び繊維製品	石油製品	非鉄金属	織物用糸及び繊維製品	天然ガス及び製造ガス	たばこ	パルプ	肉類及び同調製品	織物用糸及び繊維製品
(参考1) 主な内外の出来事	4/1消費税3%導入 5/13新宮開港	4/1国際花と緑の博覧会(大阪) 6/2イラクがクウェートに侵攻 10/3東西両ドイツ統一	1/17湾岸戦争 12/21ソ連崩壊	4/1オレンジ果汁の輸入自由化 9/30農林水産省が米の緊急輸入を決定 11/1EU発足 12/15ウルグアイラウンド交渉終結	4/26富山空港開港 9/30農林水産省が米の緊急輸入を決定 11/1EU発足 12/15ウルグアイラウンド交渉終結	1/1北米自由貿易協定(NAFTA)発効 4/15ウルグアイラウンド交渉で「マラケシュ宣言」採択 9/4開西国際空港開港 12/8マラケシュ協定(WTO協定)国会承認	1/1世界貿易機関(WTO)設立 4/19円相場一時79.75円/ドル	12/10イラク産原油の禁輸措置部 分解除(6年半ぶり)。	4/1消費税率5%に引き上げ 7/1英、香港を中国に返還 アシア通貨危機	6/8東京市場円相場7年ぶりの 140円台の円安 8-ロシア経済危機 9-ブразル通貨危機
(参考2) 全国の貿易収支 (億円)	88,440	76,017	104,597	134,849	133,761	123,932	99,821	67,379	99,818	139,914
(参考3) 全国の原油輸入単価 (円/KL)	14,453	19,842	17,194	15,408	12,450	10,581	10,687	13,937	15,718	11,481

(注)EUの平成5年(1993年)10月以前の数値はECの数値を計上

## 参考

(単位:億円)

年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
輸入総額	68,450	79,062	82,378	81,591	83,603	93,133	106,383	121,122	130,627	136,838
アジア	34,663	41,853	44,823	45,326	47,408	53,678	60,586	69,066	74,541	74,904
中華人民共和国	16,432	19,362	21,970	23,607	25,779	29,827	34,726	39,933	43,910	42,219
アメリカ合衆国	11,244	11,503	11,281	9,879	9,424	9,024	10,265	11,029	10,801	10,554
EU	9,707	10,154	10,736	11,423	11,722	12,571	12,619	13,468	15,293	14,905
近畿圏の貿易収支	28,527	26,284	14,286	22,203	28,226	33,719	28,897	31,314	36,053	28,694
税関長公示レート 年平均(円/ドル)	114.37	107.36	120.95	125.61	116.41	108.28	109.64	116.25	117.93	104.23
主要輸入品目構成比 1位	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	原油及び粗油
同 2位	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	天然ガス及び製造ガス
同 3位	肉類及び同調製品	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	事務用機器	事務用機器	事務用機器	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	衣類及び同附属品
同 4位	魚介類及び同調製品	肉類及び同調製品	肉類及び同調製品	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	事務用機器	事務用機器	事務用機器	事務用機器
同 5位	天然ガス及び製造ガス	事務用機器	事務用機器	肉類及び同調製品	肉類及び同調製品	音響・映像機器(含部品)	音響・映像機器(含部品)	半導体等電子部品	半導体等電子部品	有機化合物
同 6位	織物用糸及び織維製品	魚介類及び同調製品	魚介類及び同調製品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	肉類及び同調製品	医薬品	非鉄金属	医薬品
同 7位	医薬品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	医薬品	音響・映像機器(含部品)	肉類及び同調製品	医薬品	音響・映像機器(含部品)	医薬品	半導体等電子部品
同 8位	有機化合物	織物用糸及び織維製品	音響・映像機器(含部品)	魚介類及び同調製品	医薬品	医薬品	半導体等電子部品	有機化合物	有機化合物	非鉄金属
同 9位	事務用機器	音響・映像機器(含部品)	医薬品	音響・映像機器(含部品)	魚介類及び同調製品	有機化合物	有機化合物	肉類及び同調製品	肉類及び同調製品	音響・映像機器(含部品)
同 10位	半導体等電子部品	医薬品	織物用糸及び織維製品	有機化合物	有機化合物	魚介類及び同調製品	魚介類及び同調製品	非鉄金属	音響・映像機器(含部品)	肉類及び同調製品
主な増加品目	半導体等電子部品	原油及び粗油	衣類及び同附属品	事務用機器	天然ガス及び製造ガス	音響・映像機器(含部品)	原油及び粗油	原油及び粗油	非鉄金属	原油及び粗油
	音響・映像機器(含部品)	衣類及び同附属品	音響・映像機器(含部品)	医薬品	肉類及び同調製品	非鉄金属	天然ガス及び製造ガス	通信機	天然ガス及び製造ガス	
主な減少品目	衣類及び同附属品	織物用糸及び織維製品	原油及び粗油	衣類及び同附属品	通信機	肉類及び同調製品	半導体等電子部品	音響・映像機器(含部品)	石油製品	がん具及び遊戯用具
	非鉄金属	アルコール飲料	非鉄金属	天然ガス及び製造ガス	魚介類及び同調製品	自動車	採油用の種・ナット及び核	肉類及び同調製品	音響・映像機器(含部品)	衣類及び同附属品
(参考1) 主な内外の出来事	12/20マカオが中国に返還	7/21九州・沖縄サミット開催	9/11米同時多発テロ 11/11中国WTO加盟 11/12台湾WTO加盟	1/1ヨーロッパの貨物流通開始 1/28WTOドーハラウンド交渉開始 5/31日韓共同サッカーワ杯 11/30シンガポールEPA発効	3/20イラク戦争開戦(5/1戦闘終結宣言)	10/23新潟県中越地震発生	2/17中部国際空港開港 3/25 2005年日本国際博覧会(愛知) 4/1福井開港 4/1メキシコEPA発効	7/5北朝鮮によるミサイル発射実験 9/3日アリEPA発効 7/13日マレーシアEPA発効	7/16新潟県中越地震発生 9/3日タイEPA発効 11/1日タイEPA発効 12/1港則法施行令改正により、阪神港が誕生 12/11日ASEAN協定発効 12/11日フィリピンEPA発効	7/1日インドネシアEPA発効 7/31日ブルネイEPA発効 9/1リーマンショック 12/1日ASEAN協定発効 12/11日フィリピンEPA発効
(参考2) 全国の貿易収支(億円)	122,795	107,158	65,637	98,814	101,863	119,533	87,072	79,019	107,955	20,633
(参考3) 全国の原油輸入単価(円/KL)	12,124	19,290	19,206	19,380	21,406	24,741	35,460	46,751	51,246	67,263

## 参考

年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
輸入総額	98,413	114,272	132,392	135,387	152,542	163,078	151,881	130,311	146,597	154,349
アジア	57,160	67,031	75,324	75,362	86,928	91,169	89,102	76,832	83,369	86,892
中華人民共和国	33,574	38,221	43,150	42,976	49,352	51,140	49,840	43,799	47,894	49,334
アメリカ合衆国	7,651	8,303	9,133	9,013	10,059	11,336	12,458	11,098	13,278	14,276
EU	12,440	12,338	14,202	13,616	15,801	16,197	16,227	14,779	17,342	18,326
近畿圏の貿易収支	21,899	29,948	13,258	369	-6,167	-6,421	8,817	18,187	19,495	17,127
税関長公示レート 年平均(円/ドル)	93.52	88.09	79.97	79.55	96.91	105.30	121.00	108.95	112.33	110.50
主要輸入品目 構成比 1位	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	原油及び粗油
同 2位	原油及び粗油	原油及び粗油	衣類及び同附属品	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	医薬品	原油及び粗油	衣類及び同附属品
同 3位	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	衣類及び同附属品	原油及び粗油	原油及び粗油	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス
同 4位	医薬品	医薬品	医薬品	医薬品	医薬品	医薬品	医薬品	医薬品	医薬品	医薬品
同 5位	有機化合物	音響・映像機器(含部品)	音響・映像機器(含部品)	通信機	通信機	通信機	通信機	通信機	通信機	通信機
同 6位	事務用機器	事務用機器	通信機	事務用機器	半導体等電子部品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	肉類及び同調製品	肉類及び同調製品	肉類及び同調製品
同 7位	通信機	有機化合物	有機化合物	有機化合物	事務用機器	肉類及び同調製品	肉類及び同調製品	半導体等電子部品	半導体等電子部品	有機化合物
同 8位	音響・映像機器(含部品)	通信機	肉類及び同調製品	肉類及び同調製品	有機化合物	有機化合物	有機化合物	有機化合物	有機化合物	半導体等電子部品
同 9位	肉類及び同調製品	半導体等電子部品	事務用機器	半導体等電子部品	肉類及び同調製品	事務用機器	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品
同 10位	半導体等電子部品	肉類及び同調製品	鉄鋼	織物用糸及び繊維製品	織物用糸及び繊維製品	事務用機器	事務用機器	事務用機器	事務用機器	非鉄金属
主な増加品目	医薬品	原油及び粗油	原油及び粗油	原油及び粗油	衣類及び同附属品	天然ガス及び製造ガス	半導体等製造装置	医薬品	原油及び粗油	原油及び粗油
	-	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス	原油及び粗油	科学光学機器	自動車	天然ガス及び製造ガス	天然ガス及び製造ガス
主な減少品目	原油及び粗油	がん具及び遊戯用具	半導体等電子部品	音響・映像機器(含部品)	石炭	事務用機器	原油及び粗油	天然ガス及び製造ガス	探油用の種・ナット及び核	半導体等電子部品
	天然ガス及び製造ガス	たばこ	音響・映像機器(含部品)	非鉄金属	鉄鉱石	たばこ	天然ガス及び製造ガス	原油及び粗油	自転車	がん具及び遊戯用具
(参考1) 主な内外の出来事	9/1日スイスEPA発効 10/1日ベトナムEPA発効	10/21羽田空港の新滑走路・国際線旅客ターミナルが運用開始。 国際線4路線から17路線へ拡大。 中国が日本のGDPを抜き、世界2位になる。	3/11東日本大震災 サブライチーンの寸断等により、自動車の輸出大幅減 8/1日インドEPA発効 10/31円相場75.54円/ドルを記録	3/1日ペルーEPA協定発効 8/22ロシアWTO加盟	9/8 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定 7/23TPP交渉参加	4/1消費税率引上げ8%	1/15日オーストラリアEPA発効	6/7モンゴルEPA発効 2/4TPP署名	2/22WTO協定改定議定書(貿易円滑化協定)発効 10/8認定事業者(AEO)に係る輸出入申報に対し申告官署の自由化	7-平成30年7月豪雨 9/4台風21号により関西空港が一時閉鎖 2025大阪万博開催決定
(参考2) 全国の貿易収支 (億円)	26,712	66,347	-25,647	-69,411	-114,684	-128,161	-27,916	39,938	29,072	-12,246
(参考3) 全国の原油輸入単価 (円/KL)	35,511	43,826	54,650	57,494	67,272	69,320	41,866	28,425	38,317	50,633

「主な内外の出来事」は横浜税關外国貿易年表の日本貿易史を一部引用

## 【近畿圏 月推移】

(注)このページの「伸率」は対前年同月伸率をいう。

### <輸出>

輸出額は平成元年から平成4年までは、概ね増加傾向でしたが、平成5年4月から14か月連続のマイナスの伸率となりました。平成6年の後半は伸率がプラスに転じましたが、平成7年1月は阪神・淡路大震災等の影響で、輸出額は平成で最低額、伸率は当時の過去最低、全国比は過去最低となりました。平成8年1月には反動で平成最高の伸率となり、平成9年12月には156か月(13年)ぶりに輸出額が当時の過去最高額を更新し、震災前を上回りました。その後IT不況等の影響により、平成13年3月から13か月連続のマイナスの伸率になるも、平成14年4月からは78か月(6年6か月)連続のプラスの伸率となり、平成15年10月には初の1兆円超、平成20年9月には当時の過去最高額を更新しました。

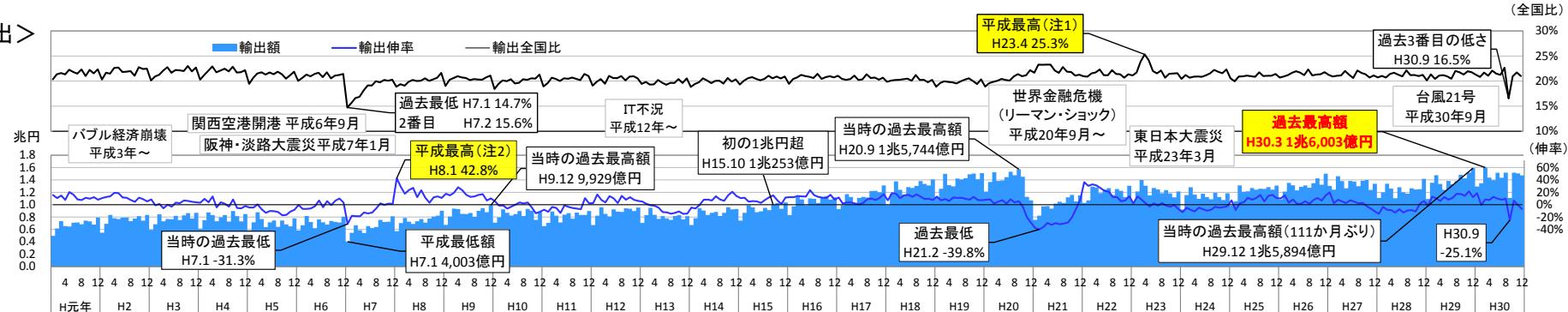
しかし、リーマン・ショック等の影響で平成20年10月から14か月連続のマイナスの伸率となり、平成21年2月は過去最低のマイナスの伸率となりました。平成23年4月は東日本大震災等の影響で全国比が平成最高となった後、伸率は平成23年9月から16か月連続でマイナスが続き、平成25年からはプラスに転じました。

平成27年後半から13か月連続でマイナスとなるも、平成29年にはプラスに転じ、同年12月には111か月(9年3か月)ぶりに当時の過去最高額を更新しました。3か月後の平成30年3月にも過去最高額を更新しましたが、同年9月は台風21号等の影響で、伸率はリーマン・ショック後の平成21年10月以降では最低、全国比は阪神・淡路大震災後の平成7年4月以降では最低で、過去3番目の低さとなりました。

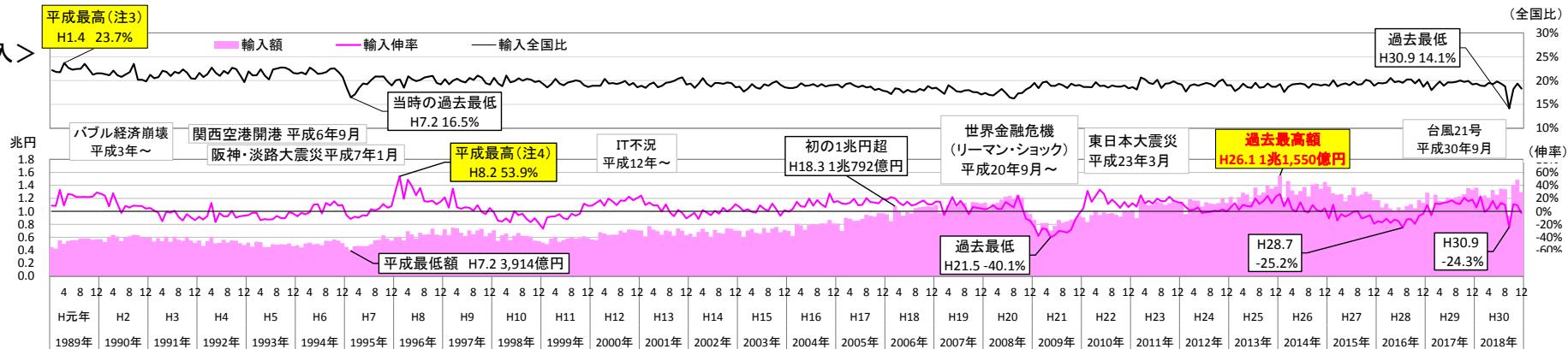
### <輸入>

輸入額は平成元年から平成2年までは、概ね増加傾向でしたが、平成3年から減少傾向となりました。平成6年の後半に伸率がプラスに転じましたが、阪神・淡路大震災等の影響で平成7年2月の輸入額は平成で最低額、全国比は当時の過去最低となりました。平成18年3月には輸入額が初の1兆円超となりましたが、増加していた原油等の輸入額が減少し、平成21年5月は過去最低のマイナスの伸率となりました。その後、再び原油等の輸入額は上昇し、平成26年1月に輸入額は過去最高額を記録しました。

### <輸出>



### <輸入>



(注1)輸出全国比の過去最高は昭和56年8月28.9% (注2)輸出伸率の過去最高は昭和55年4月60.7% (注3)輸入全国比の過去最高は昭和61年6月30.3% (注4)輸入伸率の過去最高は昭和55年2月68.1%